

## 令和5年度 家庭科 授業改善推進プラン

大田区立東調布第三小学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・コロナ渦における感染拡大の防止策を講じた上で調理実習を行うことで、児童の知識及び技能スキルの定着を図ることができた。
- ・たくさんの情報を必要とする裁縫や調理などの学習では、大型テレビや ICT、ワークシートなどを適宜使い分け、多くの情報を効率的に整理し、まとめて提示することで、安心して授業に参加できる児童が増えた。

#### (2) 課題

- ・自分自身や家庭生活に目を向け、自分の生活とのつながりを考えながら、自分にとっての課題と受け止めている児童が少ない。
- ・体験的活動が体験で終始してしまい、なぜそうするのか、どのように役立てられるかを考えたり、家庭生活で実践したりする児童が少ない。

### 2 授業改善のポイント（観点別）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な体験活動を通して、「ひと」「もの」「こと」との関わり方を実感的に学ばせ、技能スキル伸ばす。</li> <li>・裁縫や調理などの実技を伴う学習課題では、作業手順が分かるように、実物教材や ICT を活用し、視覚的に理解しやすくする。</li> <li>・基礎、基本の技能が定着するように、振り返る時間を確保し、繰り返し指導を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポートフォリオを活用し、題材全体の見通しをもたせるとともに、児童が何を感じ、どんな気づきを得て、何を学んだのかを考えさせる。</li> <li>・適宜、話し合い活動を取り入れ、友達の考えを聞いたり異なる生活を知ったりすることで違いを認識し、何が問題か、どうすればよいかを考えられるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が「自分ごと」として課題を追求することができるような学習課題を設定し、児童の問いや思いをつなげられるように指導する。</li> <li>・技能、知識の広がりへとつなげるために、実験等の実感を伴う、体験的活動を取り入れる。</li> <li>・学習したことを家庭生活に生かすことができるように、家庭との連携を図る。</li> </ul>

### 3 重要指導事項

- 具体的な体験活動を通して、「ひと」「もの」「こと」との関わり方を実感的に学ばせ、技能スキルを伸ばす。（知識・技能）
- ポートフォリオを活用し、題材全体の見通しをもたせるとともに、児童が何を感じ、どんな気づきを得て何を学んだのかを考えさせる。（思考・判断・表現）
- 学習課題に沿った学習場面を設定し、技能、知識の広がりへとつなげるために、体験的活動を取り入れたり、学んだことを生かすために家庭と連携して家庭実践につなげたりする。  
(主体的に学習に取り組む態度)